

あ と が き

本校の自己点検・評価に関する報告書は、これまで平成6年3月、平成11年3月および平成18年3月の3度「明石工業高等専門学校の現状と課題」として発行されてきた。今回の報告書は、平成18年から平成22年までの5年間のまとめである。従来のものと比較しやすいように同じ様式にしてまとめた。

この5年間では、外部評価として、JABEEプログラム認定継続審査を平成20年に受けた。また、有識者懇談会を平成18年に「明石高専の教育全般について」のテーマで開催し、それ以降は本校の喫緊の課題について毎年テーマを変えて論議し、懸案事項は関係委員会にて解決すべく、対策をたて実行に移している。平成23年度には大学評価学位授与機構による認証評価を控えているため、平成22年度に自己点検・評価報告書を作成した。

前回の報告書では、独立法人化への対応をはじめ、教職員の配置、予算措置方法や学科の教育支援システムなど、制度面の大きな変革を数多く実施した。それを受けて、この5年間はこの制度改革を吟味し、改善しながらの実行を繰り返してきた日々であった。

一方、GPなどのプロジェクトが活発化している。平成19年には、はじめて学科間を超えた教員の協力によるプロジェクト「ため池王国播磨での地域連携による環境教育」がスタートし、その後、「高専等を活用した中小企業人材育成支援事業」が続き、最新では「医療・福祉・環境と工学を融合した新分野に展開する教育プログラムの構築」などの3つが稼働している。そして、現在では自立しているプロジェクトを含めて7つもの活動が継続している。また、その他にも国際交流委員会を中心とした学生の海外派遣や、テクノセンターによる地域連携事業など、従来に比べて大きく進展した分野も少なくない。

今回まとめ評価した各項目については、次々と変化する社会的要求に対処し、常に改善が必要であり、今後も精力的に対応しなければならない。

最後に、今回の「自己点検・評価に関する報告書」の作成にあたり、各章の担当者をはじめ関係する多くの教職員にご協力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

明石工業高等専門学校将来計画・自己点検等委員会
自己点検・評価報告書作成ワーキンググループ